

答申から読み解く 次期学習指導要領 9つのキーワード

2016年12月、中央教育審議会から次期学習指導要領に関する答申が公表された。そこには、「新しい学習指導要領等の姿と、その理念の実現のために必要な方策等」が示されている。学習指導要領はどのような理念の下、どのように改訂されようとしているのか。今号では、答申及び関係者へのインタビューから、次期学習指導要領の全体像と高校教育にかかわる9つのキーワードを読み解いていく。

OVERHEAD VIEW

答申から次期学習指導要領を読み解き、生かすステップ

1 まずは全体像をつかむ 【P.4～7】



2 9つのキーワードを押さえる 【P.8～17】

- 1 社会に開かれた教育課程
- 2 育成を目指す資質・能力
- 3 各教科等の特質に応じた見方・考え方
- 4 主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)
- 5 目標に準拠した評価とその観点
- 6 カリキュラム・マネジメント
- 7 地理総合/歴史総合
- 8 理数探究
- 9 総合的な探究の時間

解説最後の **読み解き** ポイント で各キーワードの要点を整理

3 次期学習指導要領の方向性を踏まえ **自校のこれからの教育を考える** 【P.18～21】

茨城県立小瀬^{おせ}高校の若手教師と校長による、有識者を交えた教育討論会